

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第3区分
 【発行日】平成18年10月19日(2006.10.19)

【公表番号】特表2005-538220(P2005-538220A)
 【公表日】平成17年12月15日(2005.12.15)
 【年通号数】公開・登録公報2005-049
 【出願番号】特願2004-534436(P2004-534436)
 【国際特許分類】

C 0 9 J 123/08 (2006.01)
B 6 5 D 30/02 (2006.01)
B 6 5 D 65/42 (2006.01)
C 0 9 J 5/06 (2006.01)
C 0 9 J 131/04 (2006.01)
B 6 5 D 1/00 (2006.01)

【F I】

C 0 9 J 123/08
 B 6 5 D 30/02
 B 6 5 D 65/42
 C 0 9 J 5/06
 C 0 9 J 131/04
 B 6 5 D 1/00 A

【手続補正書】
 【提出日】平成18年8月31日(2006.8.31)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項1】

高い極性含有率と400g/10分未満のメルトフローインデックスを有する20～45重量%のエチレンコポリマー、低い極性含有率と400g/10分よりも大きいメルトフローインデックスを有する1～30重量%のエチレンコポリマー、テルペンフェノール粘着付与剤、及びワックスを含み、高い耐熱性と耐寒性を有する、ホットメルト接着剤配合物。

【請求項2】

前記配合物中の、高い極性含有率を有する前記エチレンコポリマーの量が、低い極性含有率を有する前記エチレンコポリマーの量よりも多い、請求項1に記載の接着剤配合物。

【請求項3】

33～60重量%のビニル含有率及び100g/10分未満のメルトフローインデックスを有するエチレンビニルアセテートを20～45重量%、並びに32重量%未満のビニル含有率及び900～2500g/10分のメルトフローインデックスを有するエチレンビニルアセテートを1～12重量%の量で含む、請求項1に記載の接着剤配合物。

【請求項4】

2～40重量%の前記テルペンフェノール粘着付与剤を含み、前記テルペンフェノールが115～140の軟化点を有するものである、請求項3に記載の接着剤配合物。

【請求項5】

115未満の軟化点を有するテルペンフェノールを更に含む、請求項4に記載の接着

剤配合物。

【請求項 6】

ワックスを更に含む、請求項 5 に記載の接着剤配合物。

【請求項 7】

140 ° F (60) 以上の耐熱性を有する、請求項 1 に記載の接着剤配合物。

【請求項 8】

請求項 1 に記載のホットメルト接着剤 配合物 を含む製品。

【請求項 9】

包装用のケース又はカートンである、請求項 8 に記載の製品。

【請求項 10】

請求項 1 に記載のホットメルト接着剤 配合物 を適用して、ケース、カートン、トレイ、バッグ又は本をシール及び / 又は形成することを含む、ケース、カートン、トレイ、バッグ又は本をシール及び / 又は形成する方法。

【請求項 11】

前記接着剤配合物が、ポリマーのラミネートされた板紙で出来た基材に適用される、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

カートン、ケース、トレイ又はバッグ中に含有される包装された物品であって、該カートン、ケース、トレイ又はバッグが請求項 1 に記載の接着剤 配合物 を含むものである、包装された物品。

【請求項 13】

包装された食品である、請求項 12 に記載の包装された物品。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

特に好ましい接着剤は、約 33 ~ 約 60 重量 % のビニル含有率及び約 400 g / 10 分未満のメルトフローインデックスを有するエチレンビニルアセテートを約 20 ~ 約 45 重量 %、約 32 重量 % 未満のビニル含有率及び約 400 g / 10 分より大きいメルトフローインデックスを有するエチレンビニルアセテートを約 1 ~ 約 30 重量 %、約 115 ~ 約 140 の軟化点を有するテルペンフェノール粘着付与剤を約 2 ~ 約 40 重量 %、約 115 未満の軟化点を有するテルペンフェノールを約 0 ~ 約 10 重量 %、並びに安定化剤を 0 ~ 約 4 重量 % の量で含む。